

第48回 立命館宇治土曜市民講座

文化と情報の誤解

—文化財は、誰が護るのか—

文化財は、文化が人格をもったもので具体的姿として現在に残っています。

それは、どのような体制で護られてきたのか。

そして、いま、その理念はどのように変化しているのでしょうか。

行政史や修理史、物質としての文化財について、云いにくいことを、これでもかとあからさまに話してみたい。

<プロフィール>

神居 文彰 (かみい もんしょう)
平等院 住職

平成3年 大正大学大学院 博士課程単位修得 満期退学
平成5年より 現職

主著 「いのちの看取り」(共著) 四恩社刊
「臨終行儀—日本的ターミナル・ケアの原点—」
(共著) 溪水社
「葬祭仏教」(共著) ノンブル社
「平等院物語 ああ良かったといえる瞬間」(単著) 四季社
「平等院鳳凰堂 よみがえる平安の色彩美」(単著) 東方出版
「新版古寺巡礼 平等院」(単著) 淡交社
「平等院王朝の美—国宝鳳凰堂の仏後壁」 別冊太陽 平凡社
「よみがえりゆく平等院」 学研ビジュアル文庫

現在 (公財) 美術院監事 (独法) 国立文化財機構運営委員
埼玉工業大学理事 京都国立博物館評議員
平等院ミュージアム鳳翔館館長 佛教大学非常勤講師
メンタルケア協会講師 等

各種文化財修復や文化財デジタルアーカイブ事業を先導し
多くの先駆的成果を残す。

日時：2017年5月27日(土) 14時～15時30分

場所：立命館宇治中学校・高等学校

A棟1階 多目的室

講師：神居 文彰氏 (平等院 住職 美術院監事)

主催 立命館宇治中学校・高等学校 同 教育後援会

◆講座終了後、希望される方にはキャンパス見学も行います。

◆本校には駐車場のスペースがなく、また近隣への駐車はできませんので、お越しの際には公共交通機関を御利用ください。